

いずもぎ

議会だより



小学校入学式

第63号

2009

平成21年5月8日

発行/出雲崎町議会
責任者/議長 中川正弘
編集/議会報特別委員会

〒949-4392
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(78)4483

3月定例会

もくじ

・ 定例会のあらまし	2～3
・ 平成21年度予算決定	4～5
・ 2月臨時会のあらまし	6
・ おたずねします、お答えします	7～14
・ 政務調査報告、現地視察報告	15
・ 町民の声「自然の恵みを活かした 町起しの提言」...	16

◆ 定例会のあらまし ◆

(会期 3月9日から 11日間
3月19日まで)

* 3月定例会で決まった補正予算 *

会 計		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第8号)		△ 6,939万 2 千円	35億7,903万 3 千円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第4号)	△ 1,698万 7 千円	5億7,512万 5 千円
	介護保険事業 (第3号)	1,182万 1 千円	5億7,609万 1 千円
	後期高齢者医療 (第2号)	△ 689万 1 千円	6,548万円
	簡易水道事業 (第2号)	86万 1 千円	1億5,986万 1 千円
	特定地域生活排水処理事業 (第2号)	△ 240万円	2,360万円
	農業集落排水事業 (第2号)	△ 130万 5 千円	1億8,000万円
	下水道事業 (第2号)	△ 480万円	2億9,050万円
	住宅用地造成事業 (第2号)	2,241万 1 千円	3,600万 8 千円

今回の補正は、年度末を控えての人件費、社会福祉費、工事請負費、負担金、補助金及び交付金等の精算見込による計数整理が主なものです。

定例会は、20年度補正予算並びに、21年度一般会計・特別会計予算、条例制定・一部改正など議案35件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。
尚、陳情1件を採択、請願2件中、1件を採択、1件を不採択とし、意見書2件を可決しました。

議会のうぶぎ (主なもの)

(平成21年1月～3月)

1
13
全員協議会

2
13
議会報特別委員会

2
16
議会報特別委員会

2
23
新潟県町村議会議長会第60回定期総会
(新潟市)

2
20
全員協議会

2
20
議会運営委員会

2
26
2月臨時会

2
28
新潟県後期高齢者医療広域連合議会全
員協議会、2月定例会
(新潟市)



議会傍聴

可決した条例制定など

号被保者の保険料を定めるもの。

◆ 出雲崎町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例制定

・介護報酬の3%引上げ、これに伴い処遇改善臨時特例交付金の創設、町は交付金を適正に管理・執行のため、新たに基金を設置するもの。

◆ 出雲崎町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正

・人事院勧告を受け、国の実施と同様関係条例を一括改正するもの。

◆ 出雲崎町特別職の職員で非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

・規則で内容を整理し名称を「行政区長」に改正するもの。

◆ 出雲崎町手数料徴収条例の一部改正

・本人の確認をする住基カードの普及のための3年間特例で手数料を無料にするもの。

◆ 出雲崎町奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例の一部改正

・基本額を「6,200万円」に増額し安定した運営を可能にするもの。

◆ 出雲崎町子育て支援に関する条例の一部改正

・新たに「子ども育成支援金支給事業」を創設し、幼児期に子どもの健やかな育成を支援するもの。

◆ 出雲崎町「子は宝」支援金支給に関する条例を廃止する条例制定

・新たな支援策を創設するもので廃止期日を1年間の経過期間を設けるもの。

◆ 出雲崎町介護保険条例の一部改正

・町の介護保険事業計画に基づき、3年間の第1

◆ 出雲崎町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

・県の広域連合が今年度と同じく暫定賦課しない事から当町も同様に改正するもの

◆ 出雲崎町道路占用料徴収条例の一部改正

・国の改正を受け、町の条例に関する部分を改正するもの

◆ 出雲崎町コミュニティ消防センターの指定管理者の指定

・井鼻・藤巻・川東、3ヶ所のセンターを各地区町内会及び集落を指定管理者に指定

◆ 出雲崎町農村環境改善センターの指定管理者の指定

・八手地区・西越地区、2ヶ所のセンターを各地区の改善センター協議会を指定管理者に指定

◆ 出雲崎町林産物等販売所の指定管理者の指定

・中越よつば森林組合を指定管理者に指定

◆ 休憩所心月輪の指定管理者の指定

・財団法人良寛記念館を指定管理者に指定

◆ 出雲崎町デイサービスセンターの指定管理者の指定

・社会福祉法人中越老人福祉協会を指定管理者に指定

◆ 出雲崎町保健福祉センターの指定管理者の指定

・社会福祉法人出雲崎町社会福祉協議会を指定管理者に指定

可決した意見書

◆ 金融危機に端を発する大量解雇・雇い止めから雇用とくらしをまもる緊急対策の強化を国に求める意見書提出を求める意見書

提出先

長長 院議 議院 議院 衆議
大臣 大 大 大 大 大
臣 臣 臣 臣 臣
厚 生 生 生 生 生

◆ C型肝炎被害者の救済に関する意見書

提出先

長長 院議 議院 議院 衆議
大臣 大 大 大 大 大
臣 臣 臣 臣 臣
厚 生 生 生 生 生

3・3

9

議会運営委員会
議会運営委員会

11

3月議会定例会招集日
予算審査特別委員会

13

定例会2日目（一般質問）

14

東京出雲崎会定時総会

17

総務文教常任委員会

19

社会産業常任委員会

30

議会運営委員会

30

定例会最終日

30

全員協議会

30

議会報特別委員会

30

長岡地域広域行政組合議会3月定例会
(長岡市)

当初予算決定

(対前年度7,120万円の減)

子育て支援策、緊急雇用対策と観光活性化など推進

一般会計の予算は**31億4,400万円**

(対前年度900万円の減)

◇一般会計の主な事業

(※は新規事業)

事業名	事業費	摘要
障害者福祉サービス費	5,535万2千円	居宅介護サービス、施設支援サービスなど
保健福祉事業委託料	1,316万円	生きがい活動支援通所事業、機能訓練事業 高齢者筋力向上トレーニング事業などの委託料
児童福祉扶助費	3,263万円	児童手当、小学校修了前特例給付金など
保育実施委託料	1億3,986万円	保育園保育の実施委託料
塵芥処理委託料	6,486万5千円	一般ごみ収集運搬委託料、廃棄物処理事務委託料、指定袋等作成・配達管理委託料など
県営中山間地域総合整備事業	6,010万円	事業負担金、換地業務委託料（六郎女地区）
※天領の里工事事業	1,534万1千円	天領の里物産館・レストラン空調設備改修工事
道路新設改良舗装事業 （6路線）	1億4,800万円	上中条米田中山線、六郎女線、久田1号線 立石稲川線、乙茂藤巻神条線、上中条11号線
街なみ環境整備事業	7,100万円	街なみ環境整備工事・景観舗装工事 （町名 伊勢町、岩船町、木折町）
消防事務委託料	8,917万6千円	消防事務委託料（柏崎市）
小学校通学バス運行事業	2,256万5千円	小学校児童の通学バス運行
※中学校体育館工事事業	4,000万円	中学校体育館床改修工事

平成 21 年 度

総額49億5,600万円

住宅の安全対策の耐震診断・耐震改修への助成、

特別会計(9会計)の予算は**18億1,200万円**
(対前年度6,220万円の減)

◇特別会計の主な内容

国民健康保険会計

5億5,900万円 (870万円減)

被保険者療養給付費	3億3,240万1千円
後期高齢者支援金	6,154万7千円

老人保健会計

150万円 (7,480万円減)

医療給付費	83万円
-------	------

介護保険事業会計

5億7,040万円 (6,140万円増)

介護サービス給付費	4億9,743万9千円
介護予防サービス給付費	1,745万7千円
特定入所者介護サービス等費	1,800万円

後期高齢者医療会計

6,600万円 (600万円減)

後期高齢者医療広域連合納付金	6,293万円
----------------	---------

簡易水道事業会計

1億2,850万円 (2,250万円減)

施設維持管理費	4,365万9千円
配管布設整備費	2,120万円
公債費	2,991万3千円

特定地域生活排水処理事業会計

1,970万円 (30万円減)

浄化槽維持管理費	879万2千円
公債費	1,034万6千円

農業集落排水事業会計

1億8,010万円 (110万円減)

施設維持管理費	4,168万9千円
公債費	1億3,076万円

住宅用地造成事業会計

2,200万円 (1,530万円増)

用地買収費	2,100万円
-------	---------

下水道事業会計

2億6,480万円 (2,550万円減)

施設維持管理費	4,261万2千円
公債費	2億79万2千円



予算採決

◆ 2月臨時会のあらまし ◆

(会期 2月26日 1日間)

＊臨時会で決まった補正予算＊

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号)	2億908万6千円	36億4,842万5千円
特別 会計 簡易水道事業 (第1号)	800万円	1億5,900万円

臨時会は、議案3件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

一般会計補正予算

おもな歳出

- ・庁舎耐震補強工事…………… 5,000万円
- ・庁舎非常用発電機設置工事…………… 800万円
- ・定額給付金…………… 8,544万円

特別会計補正予算

おもな歳出

- ・上中条浄水場非常用発電機設置工事…………… 800万円

自治功労者表彰

このたび全国町村議会議長会長から、議会機能の高揚と町村自治の振興発展に尽力された功績が認められ、次の議員が表彰されました。

15年以上在職功労者

● 日山正雄 議員



臨時会

おたずねします お答えします

尼瀬・諏訪本町地内の 駐車場整備について

宮下 孝幸 議員

質問 当町は、災害復興祈願の事業の一端として、合計3度のイベントを挙行しました。その集客数は延べ5万2千人数え大成功で有ったと思われます。イベントでは、尼瀬三区と諏訪本町の背後地が駐車場として利用されてますが、車輛によるタイヤ痕等も多く、残されています。来年度も三大イベントの計画が有りますが、町民の生活が困窮する中、大変厳しいご批判もあります。これは、議会も町も民意として真摯に受け止め挙行しなければなりません。

背後地は、国有地と神社地を合わせて千百㎡と混在を致しておりますが、駐車場舗装は概ね330万円程度で

可能と思われます。

来年度のイベントの有無に関わらず、いずれ出雲崎の観光の拠点となる地は、天領から港にかけての背後地周辺であると私は確信を致しております。

従って、出雲崎観光発信の拠点として、これからも多くの期待の持てる背後地の舗装整備は必須条件であるものと思われませんが、町長の所見を伺います。

答弁 地震災害からの復興元年と位置付け、三つの事業を行い大成功を収めました。

イベントの際、苦勞するのはやはり駐車場の問題です。

終了後、背後地がタイヤ

痕などで荒れた状態であったとすれば反省と対策も必要と思います。現在は、天領の里の鉄柵を撤去し利便性の向上も図っておりますが、通常の利用では問題は無いものと思われ

ます。

背後地は、国有地・神社地が存在をしますので、それらをどの様にするか、あるいは、地元

の様に

皆さんが現在利用されてる事から、駐車場として整備をした場合、個人的な利害の問題も懸念をされます。利用度などを含め、それらを総合的に判断し、如何なる方法が良いのか等を斟酌しながら、今後整備を進めて参りますので、そのようにご理解をお願い致します。



尼瀬・諏訪本町地内の背後地

心豊かに安心して暮せる「まち」に

南 波 榮 一 議員

【質問】 中越沖地震からの復旧は皆んなで頑張った結果、早目に被災者が元の生活に戻る事が出来ましたが、引き続き支援が必要であります。

【答弁】 復興を成しとげるために今年も3大イベントを行います。色々な町民の声があるかもしれませんが、町の財政支出はわずかで、復興基金が大部分を占めています。

当町は昨年のイベントで勇気づけられ復興して来ました。昨年だけの線香花火で終るのでなく更に頑張つて参ります。

【質問】 新年度予算は100年に一度の世界的な経済不況で、経済・景気・雇用対策などが必要で住宅ローンの利子補給、商工業者の借入れ金の保証支援など重点的な取組みがなされます。

その中で、今年も復興行事が多いように感じています。伝統行事その他へのしわ寄せがないようお願い致します。

【答弁】 次に復興関係ですが、100年に一度の経済不況の中で商工業者への緊急融資制度、保証料の補てんを行っていますが、借入金の利子補給については困難であります。これら制度の対応は県下でも上位にあることを理解していただきたい。

【質問】 心豊かで安心して暮らせる町、町政運営が何よりも必要であります。街並環境、農村環境など基本計画を基に事業の実施が行われています。官民協同のまち作りを充実させるための「チーム」又はプロジェクトなどを立ち上げる事が必要だと思います。

JA跡地の利用計画は、駅前地区の再生、活性化に切り離して考える事は出来ません。町にとっても一番いい場所であり、駅前の顔になるはずであります。本計画では色々な意見、提言を聞きながら進めるワークショップ手法で取り組んでもらいたいと思います。小学校児童による「子供

夢フォーラム」での意見・提言が生かせるよう頑張ってもらいたいと思います。以上所見を伺います。

【答弁】 今後の町政運営についてはその時々の経済、社会背景のもとでやるべき事に対して連携を図り、又はプロジェクトチームを造りながら行つて参ります。町

総合計画などにより問題別に相図り対応して参ります。

JA跡地については駅前の再生、活性化と関連づけて最も有効な所にインフォメーションセンターを作り、情報発信の地としていきたいと思ひます。庁内、各種団体を網羅した形で進めて参ります。



子ども夢フォーラム

海岸地域の再生について

山崎 信義 議員

質問 海岸地域の再生を問う前に、当地域の現状と課題についてどのようにお考えか伺います。

答弁 町全体もそうですが、非常に高齢化が進み、ひとり暮らしの老人世帯もふえてきています。

それに伴って、人口減少も顕著になっており、空き地、空き家も目立ちはじめています。かつては、北国

街道随一の栄えた町「出雲崎」をいかに再現するかが課題と考えます。

質問 今年度当初予算の中に「海岸環境整備事業概要書作成業務委託料」が盛り込まれています。

これは、勝見から久田間での海岸線を含め、漁港整備など次の事業が期待されますが、先の見える「海の出雲崎」の構築に向けた所

見を伺います。

答弁 今後さらに基盤整備の事業の審議、採択に向けての前段階の作業と心得ています。地域水産物供給基盤整備事業で、防波堤の新設、改良や漁場整備などで漁業振興あるいは漁業の経営の安定化につながるものと考えています。

質問 妻入りの修景整備促進には重点地区を絞っていかないとなかなか進みません。

その対策と「まちなか再生」について所見を伺います。

答弁 何とか一つの方向づけをすべき年だと思っております。先送り、先送りであってはもうだめです。

妻入りの街並みの核となる場所、あるいは、その具

質問 時期も決めながら、そこまで何とかしたいというものを出していただければ町民のみなさんも安心

体的な内容をどうするか皆さんと相図りながら進めていきます。
また、いろいろ助言いただいてやるという形の中で、今年は何とかそういう形を作っていきたいと考えています。

答弁 点と点を結び面とするということが最も大事。単発的に一つ一つやるのではなく、体系的に組み合わせながらやっていくことが大事だと思っています。

すると思います。たとえば、羽黒町の海遊広場、駐車場などから、まちなかの誘導ができていません。プロジェクトの考えはありませんか。



水産資源の確保と安全操業を
(荒れる日本海・漁港周辺)



取りもどせ「まちのにぎわい」
(妻入りのまちなみ)

支援制度について

中 野 勝 正 議員

質問 当町は合併していないが、平成の大合併が進み合併した市町村の中で中心部と末端部で、ひずみが起きている。

昨年総務省が合併市町村の中で集落においては限界集落になっている地域に、行政とパイプ役になり、地域をより立ててくれる人に、行政が委託した場合、特別交付金を支給するとい

回答 当町は合併していないがする事になれば当てはまります。

質問 町としてはこの制度の考え方はいかがですか。

回答 町としては各集落との連絡を密にして、決めこまめに対応しています。地域からの要請や要望があれば考えます。

質問 小中学校教育について東京都品川区は、国から教育特区に認定されて、小

中一貫教育をおし進めているし、横浜市や、新潟県の三条市は、特区を受けず、三条市は平成25年を目標にすすめております。当町の場合、少子化が進んでおり、年々生徒数が減少しているわけです。

回答 (教育長) 当町としては、三条市がおしすすめている、小中「一体型」の一貫教育は現状では考えておりません。しかし、今まで以上に小中連携と地域とのかかわりを密にしなが、町の子供の未来を見据えたより良い教育を推し進めて参りますので、町民の皆様からご指導、ご協力して頂きたいと思





ふれあいの里

保健福祉センターの 利用者の減少について

田 中 政 孝 議員

【質問】 町民の健康維持のため、ゆっくり風呂に入って一日ゆっくり過ごし憩いの場として活用したいと言う一つの目的がありました。

平成9年に開設し今年で12年目を迎えます。この間、利用者数を見ると平成10年をピークにほぼ右肩下がりで推移しております。町長はどのように考えますか。

【答弁】 平成10年2万1,063人をピークに年々減少しております。利用者の内訳では、行事等で利用される方は当初9,000人程度でしたが毎年減少しています。

一方、お風呂を利用される方は、ピーク時の1万

2,000人から近年は5,000人へと落ち込んでおり、お風呂と行事等の利用者の割合も当初はお風呂が6割、行事等が4割であったが、平成16年度から割合が逆転し、近年ではお風呂が4割、行事等の利用者が6割である。お風呂の減少が同センターの利用者数の減となつています。

これらの要因としては、近年比較的手ごろな価格で利用できる非常にグレード高い日帰り温泉施設が近隣に多数整備されておるといふことが大きく影響していると思われる。

【質問】 当施設はけつして利益を追求するものではありませんが、効率の良い運営が必要と思われます。そこで、収入である利用料と、経費の割合、お風呂関係の経費率や金額など、また、今後どのように運営されるのかお伺いします。

【答弁】 光熱費は年間650万円から700万円であり、お風呂の経費としては明確な割合

を算出することはできないが、おおむね6割の400万円程度である。施設修繕費、消耗品の経費等は30万円程度にかかっています。収入はピーク時約560万円であり近年は200万円から250万円に減少しています。

今後、乳幼児から高齢者まで幅広く利用できる施設として、リハビリ教室、赤ちゃん教室、ボランティア活動など健康増進、介護予防などの事業とタイアップしながら利用者の拡大を図り、より柔軟な発想で知恵を出し合い安らぎと憩いの場として、適正な運営管理を行つてまいります。

子は宝支援事業の 22年度から廃止について

田 辺 雅 巳 議員



友達が多くいるといいね

質問 今年2月21日全員協議会において町長が行政報告されたさい「子は宝」支援事業の22年度からの廃止について語られました。

町長は「議会の皆さんからの指摘いただきました「子は宝」支援事業につきましては、おおむね目的

達成しつつ角度を変えなければならぬかとの指摘もありました。そういう観点から「子は宝」支援事業につきましては、21年度中は継続し、合わせて新しい子供育成支援金で支給したい」と語られました。

私は、「子は宝」支援事

業の支給対象が1人、または、無くなっても子を産みたいご両親がいるかぎり存続すべきと考えます。

先行き不安から少子高齢化が進む当町、大きくなくとも人口増にもつながり、他の市町村に発信し続け存続させている意義は絶大であり、そして受け取った人、もらわれない人でもこういう制度がわが町にあると誇らしげに言える、かけがえのない事業であります。

全員協議会で私が「子は宝」支援事業を残して欲しいと質問しました。町長は『会合や窓口での話で「すごい制度、これはありがたい」と喜んで頂いている。「これは良かったのかなー」と答えました。であるならば、住民の方々の率直な気持ちに答えることはできないものでしょうか。答弁お願いします。

答弁 一生に産む子供の数が過去最低になって、国では何度かにわたり児童手当等の改正も行いまして、平

成19年度から第三子以降の児童に限って児童手当の額を倍額の月額1万円と引き上げることになっております。

また、県におきましても、医療費の助成対象を平成21年9月から3子以上の子供がいる家庭についてのみ、通院費をこれまでの3歳未満から小学校3年まで引き上げることになっており、子育て環境も変化しています。

本町では年間30人程度と、残念ながら少ない出生数の状況をかんがみますと、多子世帯に限らずすべての子どもたちに対する支援を行う方が、町全体の子育ての環境整備がより充実すると、また望ましいことだと判断されます。

また、対象となる子供の実数等を勘案したとき、この際「子は宝」支援金を廃止して、子供育成支援事業の転換を図る方が適当であると判断して提案したものです。将来、町が担う子供達の安心して生み育てる環境づくりに努めたい。

活力ある産業のまちづくりは

田 中 元 議員

【質問】 施政方針の中で、大
門地内のJA跡地を取得し
地域の実情に合せた、開発
を進めるとあります。活力
あるまちづくりを進めるに
は、第一次産業で生活が成
り立つ魅力がなければなり
ません。

町長は汐風米栽培の継続
と米の肥料・農薬の5割
減々栽培を進められる方針
ですが、どちらも同じ米だ
と思います。汐風米は潮風
で乾燥するから汐風米で、
潮風にあてないものは、そ
うでないかと答えられまし
た。商標登録は、内容でな
くネーミングでとれると思
います。

JA、行政、生産者が一つ
になり、出雲崎産コシヒカ
リを5割減々で栽培し、商

標をとり、地産地消につな
げる多目的施設を建設し、
鮮魚の直売や魚貝類の加工
品を生産直売することによ
り、就業者の増加もはから
れ活性化につながると考え
られます。答弁をお願いし
ます。

【答弁】 跡地利用について
は、皆さんと相図り、予算
措置をとり、インフォーマー
ションセンター的な情報発
信基地、もろもろの機能を
備えた施設にしたいと考え
ます。

企画立案を進めるには、
検討会を立ち上げ、全国的
に成功例や失敗例を見てい
る専門的な立場の方々の所
見を聞いたたり、実際の具
体的事例を参考にしながら進

めていきたい。

施設にしても具体的なた
き台が必要で皆さんと相
図り地域産業の活性化につ
ながるように考えたいと思
います。

汐風米については、潮風
に当てない米を、汐風米と
しての登録商標は納得でき
なく、天日乾燥しなければ
産地偽装となり通用しない
のでだめだと思っています。

魚貝類の加工について
は、高級魚は高く買っても
らい、価格の低い魚につい
てはどういう付加価値をつ
けるかが課題です。

今までの過程で付加価値
をつける加工場の建設など
を予算措置し、なんとか試
みたのですが実現しませ
んでした。



付加価値をつけよう

もう一度仕切直して可能
性をさぐりながら、最善の

努力をしてみたいと思
います。

紙風船をスポーツのイベントで！

小 林 泰 三 議員



東北電力ビッグスワンスタジアム

質問 今年は新潟県内で大きなスポーツ大会があります。7月に新潟市に大きな野球場が完成し、プロ野球の公式戦が予定されています。9月には県内各地で国体が開催され例年になくスポーツに接する機会が多くなります。

野球ファンなら楽しみにしている阪神タイガースのジェット風船による応援は有名です。ゴム風船による応援に代わり、出雲崎町で生産されている紙風船を使ってもらえないかという考えです。

特に、使ってもらえればいいなあと思われるのは、東北電力ビッグスワンスタジアムで開催されるサッカーのアルビレックス戦の応援に使用してもらうことです。町などから関係方面に働きかけてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

答弁 日本の紙風船は明治25年ごろ登場し、当町でも大正8年ごろからつくり続けておられます。大半は古

くからの産地である当町でつくられており90%以上です。

昔懐かしい素朴な味わいがあるおもちゃとして今も愛されており、当町の大切な歴史ある産業の一つで、町の宝として守り育て、次の世代に伝承していく必要があると強く感じています。

今までの紙風船PRはイベント、物産市、フェア等で当町の他の物産商品とセットで売り込みを行ってまいりましたが、応援に使用となりますと、初めての試みでもあることから、かなりハードルも高いことが予想されます。

しかし、紙風船の価値のすそ野を広げる選択肢の一つとして関係機関と協議をして、新たにチャレンジしてみたい事例とも考えております。

今後皆様の意見なり、環境等を勘案しながら検討してまいりたいと考えております。

政務調査報告

北海道福島町 1月27日～28日 ～開かれた議会づくりの取り組み～

福島町は人口5,500人、面積は187.23km²で、第41代横綱千代の山、第58代横綱千代の富士の出身地です。

2007年11月マニフェスト大賞の議会部門で、福島町議会が最優秀成果賞を受賞され、開かれた議会づくりに取り組んでいられるので研修して参りました。

議会運営委員会と議員同士で、行政や財政などについて各自が具体的な活動内容を自己評価し、いずれの評価も毎年1回、結果を町議会のHPで公表しています。

又、議員定数や議員報酬の削減、費用弁償の廃止など行なったが、議会議員の役割の重要性が求められ、その目的を達成する活動（会議）が多くなり、現状では、議会歳費の適正な検討をしなければならないと話されました。

以上、今回の研修で特に、議員の評価制度について大変勉強になり、今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

(中野勝正)



福島町視察



出雲崎酪農組合

3月19日午後から3ヶ所、視察しました。
※六郎女池区中山間地域総合整備事業は、平成20年度施工水路で、大門282m・沢田374mが合計1千220万8千円の事業費となり整備されました。
※出雲崎酪農組合（良寛牛乳）で参事や工場長などから説明を受けました。

現地視察報告

昭和56・57年に現在の工場が建設され、54人の従業員、年間約13億円の売り上げとなり、出雲崎町の大きな産業に成長しています。

今後の施設整備については、主要機器の使用年数が経過しており、今後更新を考慮していかねればならず、どれを優先させるかです。長野県などから流入する安価な牛乳類、県産乳の価格差、市場の製品の動向をみると、

カップ物のヨーグルトとゼリー等のデザート製品は多様な形態でのびており、優先度は高いと検討中です。
役員・組合員一丸となり一生懸命頑張っておられます。町もかなりの額の補助金を出して応援していますが、昨年は550万円の赤字となりました。経営改善に勤められ、不況を吹き飛ばし優良企業になることが望まれます。

(小林泰三)

町民の声

『自然の恵みを活かした
町起しの提言』川西
本間 勲

小木ノ城山の早春

私と妻が出雲崎町に移住してから、早くも2年が過ぎました。2人とも野草の観察が好きで、天気の良い日には、小木ノ城山など近くの山林の散策を楽しんでいます。特に早春の林床では、カタクリの群落や多くの野草が自生しているところに出会い、その光景には感動させられます。また、身近な雑木林で、関東では珍しくなった種や日本海側特有の種が見つかりますと、一入嬉しくなります。

この町は里山に囲まれ、豊かな自然に恵まれています。この豊かな自然が残され、さらに、これを活かした町起しの施策を進めていただけたらありがたいです。

例えば遊歩道を整備し、雑木林の手入れをして、自然と共生する里山を町内の方と共に町外のお客様にも楽しんでいただくとか、林業を復活して、枝打ち材や間伐材をペレット化する新しい産業を起すなど、種々の立場の方々からご意見をお聞きする機会を計画されたいでしょうか。

表紙の小話

4月6日、33名の可愛い子供達の入学式でした。名前を呼ばれ大きな声で返事をする子、恥ずかしそうに小さな声で返事をする子、緊張しているような子など、なかなか慣れない様子。そんな子供たちも6年間で勉強はもちろん、友達との遊び方など、いろいろな体験をし、人間としての基本的なものが身に付くものだと思います。

子供の成長には目を見張るところがあります。それに比べると還暦を迎える私など成長どころか少しでも現状維持できるように努力しなければならなと思っています。

先生方、保護者の皆様、また地域の方々から限らない才能を育ててあげて頂きたいと思います。

(田中政孝)



あとがき

今年は暖冬と言われ確かに小雪ではありましたが、4月に入ると一転して気温も上がり、急に桜も満開になり、これからいろいろな草花が芽吹き、活動的な季節になります。雪国で生活する我々にとって一番素晴らしい季節ではないでしょうか。

議会報も議員4名で担当してきましたが今回の第63号をもって今期最後となります。この間『町民の声』に投函いただいた方をはじめ、御提言などいただき町民方々から育てていただきました。大変ありがとうございました。

今後第64号から新メンバーが担当となりますが、今まで以上のご協力をお願いいたします。

(田中政孝)

